



社会医療法人大成会 福岡記念病院  
Fukuoka Kinen Hospital



# face to face

向かい合って、  
スマイル。

2022 vol. 81

福岡記念病院広報誌  
TAKE FREE



## contents

- ・診療科紹介 循環器センター
- ・「総合診療科」について
- ・特集 医療チームの活動
- ・医療の現場から  
リハビリテーション科の紹介
- 疾患別のリハビリテーション
- ・連携施設のご紹介



## 診療科紹介

# 循環器センター

National Cerebral and Cardiovascular Center



当院にいつもたくさんのお客様を  
ご紹介いただき、大変感謝申し上げ  
ます。おかげさまで「循環器  
センター」の症例も年々増加し、  
毎日充実した日々を過ごさせていた  
だいております。これもひとえに  
患者様をご紹介いただいております  
先生方のお陰と感謝の念に堪え  
ません。

「循環器センター」は、夜間、  
休日を問わない毎日のきめ細かな  
診療と大病院にも引けをとらない  
高度先進医療を提供することを目標  
に掲げております。毎日朝夕の病棟  
回診、カンファレンスを通して  
患者様の日々の病態を詳細に把握  
し、早期改善、退院していただける  
ような診療を行い、また、高度先進  
医療を受けていただけるよう、多く  
の専門施設認定を取得し、心臓血管  
外科と緊密な連携をとり、「ハート  
チーム」として日々の診療を行っ  
ております。また、  
他科医師、大学病院  
とも密に連携し、  
患者様一人一人を大切  
にする診療を日々  
心がけております。

狭心症、心筋梗塞  
などの虚血性心臓病  
に対する冠動脈形成  
術（PCI）は上野  
高史院長を中心とし  
難易度の高い血管内  
手術（PTCA）

治療も行っていますし、心臓血管  
外科（宮本和幸部長）の協力もあり  
冠動脈バイパス術などの開心術も  
リハビリテーションなどの非侵襲的  
な検査治療にも力を入れております。  
心房細動、心室頻拍など  
の不整脈や重症心不全に対しても  
は、（クライオバルーンを含む）  
カテーテルアブレーション、心臓  
再同期療法（CRT）、植込み型  
除細動器（ICD）、リードレスを  
含めた）ペースメーカーなどの  
カテーテル、デバイス治療をほぼ  
毎日行っております。救急医療に  
おいては、以前より多くの救急症例  
に対し、経皮的心肺補助装置  
(ECMO)、持続的  
緩徐血液濾過透析  
(CHDF)などの機械  
的補助循環装置を使用  
した救命・集中治療を行っており、現在では  
救急・集中治療専門  
医師の協力もあり、  
毎日24時間体制で充実  
した集学的治療を行え

るようになっております。また、  
血管外科、形成外科、皮膚科、  
感染症チームとも協力し、閉塞性  
動脈硬化症に対する血管内治療  
(EVLT)、フットケアも行ってお  
りますし、心臓・血管超音波検査、  
冠動脈CT検査、核医学検査、心臓  
リハビリテーションなどの非侵襲的  
な検査治療にも力を入れております。

このように、循環器救急領域から  
虚血性心臓病、不整脈・心不全治療、  
非侵襲的検査、心臓リハビリテー  
ションなどまで多岐にわたって、  
患者様に十分満足していただけるよ  
うな繊細で高度な医療体制を提供で  
きるよう日々精進しておりますの  
で、今後とも、患者様の御紹介、  
御指導、御鞭撻の程、何卒よろしく  
お願い申し上げます。

## 循環器センター 医師の1日

- 朝の病棟回診
- 病院全体  
カンファレンス
- 午前中 外来診察
- 午後 手術
  - ・冠動脈形成術  
・カテーテルアブレーション  
・ペースメーカー 等
- 夕方の病棟回診

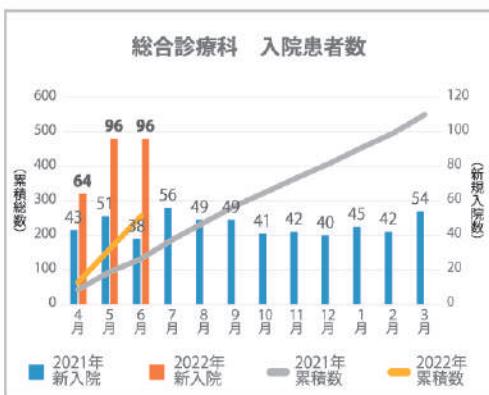
# 「総合診療科」について

なぜ今、「総合診療科」が  
もとめられているのか？

急速な高齢化を迎える今の時代では、複数の慢性疾患を併せ持つていての方が増えています。例えば、高血圧、糖尿病、肺気腫、脳梗塞後遺症などを併せ持っている場合、従来の医療システムでは、循環器系・代謝・内分泌系・呼吸器系・神経系といった複数の診療科を個別に受診する必要があり、一度の受診で多くの時間を費やす必要があります。病気の状態が落ち込んでいるば、総合診療科を中心に外来受診をすることでの、必要な時に各専門領域の先生と連絡を取り合いながら診療を進めることができ、待ち時間の短縮だけではなく、大きな視点で捉えると、国が抱える医療費の問題にも貢献することができます。また、めまいやふらつきといった症状を感じた際に、気軽にご相談いただければ、その話を伺い、診察や検査を行なながら何が今一番良い選択なの

かについて、一緒に考えてていきます。普段、皆様の身近な存在として、ちょっとと調子が悪い時にいつも相談する近くの「かかりつけ医」の先生と同じ役割を果たしております。

実際には、病気は良くなつたけれども、自宅や施設での生活に不安やギャップを感じて困っている方も多いと思います。そんな時に医療と福祉や介護との橋渡しの役割を総合診療科は担っております。高齢化に伴い、主訴は病気だけではなく、年々少しづつ身体機能の衰え（フレイル）が進むことで、これから的生活を心配してご家族と受診されるケースも増えています。地域の最前線で皆様の健康を守る「かかりつけ医」の先生方とも連携して、皆様が今後地域でどのように過ごしていくかと一緒に考えることが我々の役目だと感じております。



総合診療科の意外な一面？

病院で働く医師の仕事というと、病気を診断したり、治療をすることが一般的だと思います。



カンファレンス風景



総合診療科メンバー

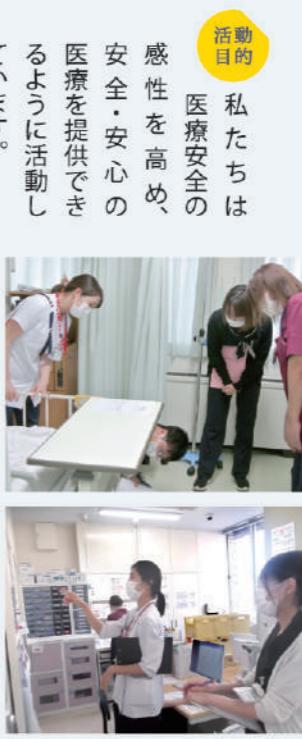
当院の総合診療科では、  
2022年よりスタッフが2名  
から7名（研修医2名）に増え、  
スタッフの充実とともに「外来」と「入院」における患者さんへの対応が従来以上に手厚くなっています。

病気のことだけではなく、  
地域での生活や家族のことでも  
不安があれば、総合診療科へ  
いつでもお気軽にご相談ください。

# 医療チームの活動

当院では様々な医療チームが活躍しています。今回はその中から医療安全チーム、感染対策チーム( ICT )、がん診療チーム、口腔ケアチーム、褥瘡対策チームなどの5つのチームをご紹介いたします。

## 1 医療安全チーム

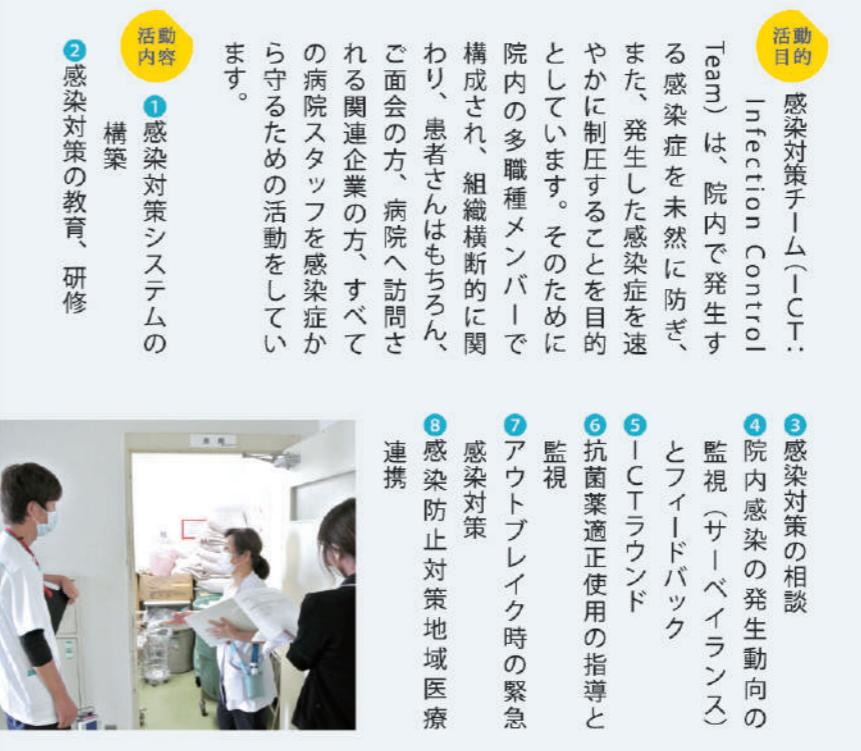


**活動目的** 私たちは医療安全の感性を高め、安全・安心の医療を提供できるように活動しています。

**活動内容** セーフマスター機能を使用し、毎日各部署からインシデントレポートが報告されます。報告されたレポートに基づき調査・分析し対策を検討しています。さらに院内全ての部署のスタッフから構成された月1回の医療安全推進委員会を開催し、決定された方針・事故防止対策・

改善策などに関する事項を各部署で周知・徹底していくよう努めています。また、週1回4部門に分かれ病院内のラウンジを実施しています。多職種から構成されているため、様々な視点から医療安全対策の実施状況を把握・分析・評価しながら各部署の安全対策推進活動を支援しています。

## 2 感染対策チーム ( ICT )



**活動目的** 感染対策チーム( ICT Team )は、院内で発生する感染症を未然に防ぎ、また、発生した感染症を速やかに制圧することを目的としています。そのため院内の多職種メンバーで構成され、組織横断的に関わり、患者さんはもちろん、ご面会の方、病院へ訪問される関連企業の方、すべての病院スタッフを感染症から守るための活動を行っています。

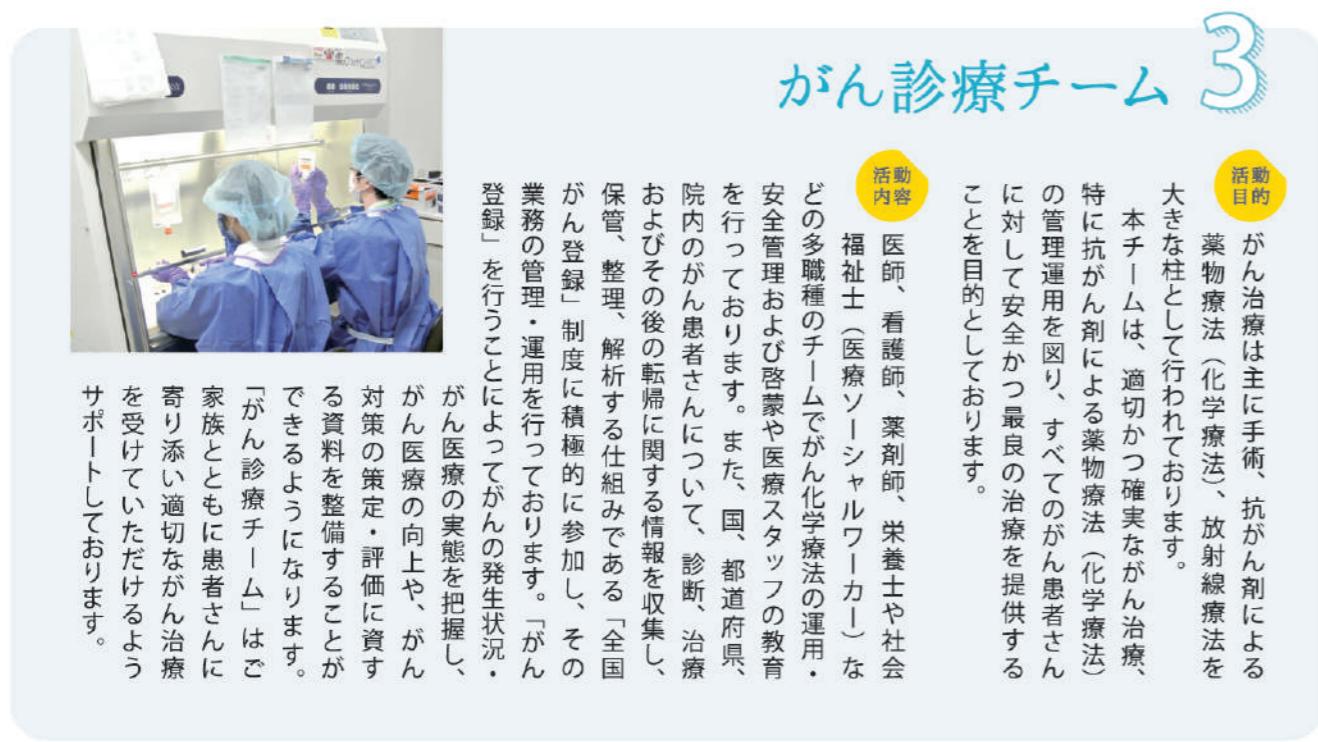
**活動内容** ① 感染対策システムの構築

② 感染対策の教育、研修

- ③ 感染対策の相談
- ④ 院内感染の発生動向の監視(サーベイランス)とフィードバック
- ⑤ ICTラウンジ
- ⑥ 抗菌薬適正使用の指導と監視
- ⑦ アウトブレイク時の緊急感染対策
- ⑧ 感染防止対策地域医療連携



## 3 がん診療チーム



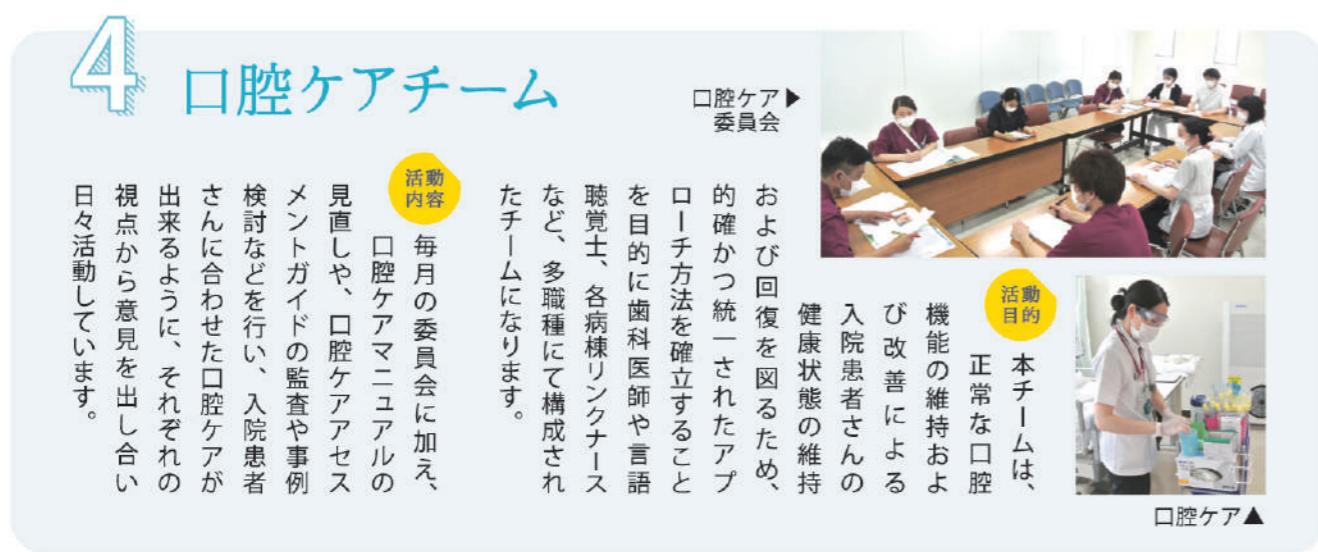
## がん診療チーム 3

**活動目的** がん治療は主に手術、抗がん剤による薬物療法(化学療法)、放射線療法を大きな柱として行われております。

**活動内容** 医師、看護師、薬剤師、栄養士や社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)などの多職種のチームでがん化学療法の運用・安全管理および啓蒙や医療スタッフの教育を行っております。また、国、都道府県、院内のがん患者さんについて、診断・治療の管理運用を図り、すべてのがん患者さんに対して安全かつ最良の治療を提供することを目的としております。

がん医療の実態を把握し、がん医療の向上や、がん対策の策定・評価に資する資料を整備することができます。 「がん診療チーム」はご家族とともに患者さんに寄り添い適切ながん治療を受けていただけるようサポートしております。

## 4 口腔ケアチーム



## 口腔ケアチーム ▲

### 口腔ケア▼ 委員会

**活動目的** 本チームは、正常な口腔機能の維持および改善による健康状態の維持および回復を図るため、入院患者さんの機能の維持および改善による

**活動内容** 毎月の委員会に加え、口腔ケアマニュアルの見直しや、口腔ケアアセスメントガイドの監査や事例検討などを行い、入院患者さんに合わせた口腔ケアが出来るように、それぞれの視点から意見を出し合います。



## 5 褥瘡対策チーム

**活動目的** 褥瘡とは「床ずれ」のことです。同じ体勢で圧迫されることによる血流障害で発生します。

**活動内容** 皮膚科医師、専任看護師、薬剤師、管理栄養士などにて構成されており毎月第2、4火曜日の午後に褥瘡回診を行っております。

また月初めには前月回診した褥瘡患者さんに会議も行つております。



## Rehabilitation

## 1 運動器リハビリとは

運動器とは、動くことに関わる骨、筋肉、関節、神経等の総称です。この運動器の機能が低下した状態、または外傷によって損傷した患者さんに対して、運動療法や物理療法、装具療法等を用いて身体機能を回復へと導きます。



## 2 呼吸器リハビリとは

呼吸器疾患や胸・腹部の術後の患者さんに対して、呼吸困難感の改善や運動耐容能の向上、呼吸方法・排痰方法等を行います。

集中治療室での超急性期リハビリでは、人工呼吸器装着中でも、二次的合併症予防や廃用症候群を予防する観点から体位ドレナージや早期離床等に取り組んでいます。

## 3 心大血管リハビリとは

心疾患やその術後の患者さんに対して、体力回復や合併症予防、再発・再入院予防を目的に、運動指療法導や生活指導を行います。

心疾患の患者さんは、どの程度動いても大丈夫なのかの判断のため、運動負荷の試験や評価を行い、退院後への社会生活もサポートしています。



▲心大血管リハビリ訓練の様子



## 4 脳血管リハビリとは

脳血管疾患により、身体に麻痺や感覚異常、高次脳機能障害、言語機能の低下等が生じた患者さんに、それらの機能回復にむけた筋神経再教育訓練や基本動作の練習、言語訓練、摂食嚥下訓練等を行います。

◀ST室 絵カードを使用して言語訓練をしている様子

がんリハビリテーション、廃用症候群リハビリテーションにも対応しています。

当院のリハビリテーション科では、疾患と状態に応じて必要なリハビリを組合わせながら、患者さんをサポートしています。

当院は「地域医療支援病院」として、  
地域医療機関と共に地域医療を支えています。

## しまだ内科・循環器クリニック

[診療科] 内科／循環器内科／脳・血管内科

しまだ としふみ  
院長 嶋田 寿文 先生



2017年に六本松にてクリニックを開業して5年が経過しました。

この六本松地区は九州大学六本松キャンパス跡地を再開発し、各世代の人口が増えている地域です。当院は福岡市科学館、薦屋書店などが入る複合商業施設（六本松 421）2階のクリニックゾーンにあります。

私は総合内科専門医、循環器専門医、脳卒中専門医、脈管専門医という4つの専門を柱に「全身の血管病を診る」ことをモットーとしています。時折、心血管病などの緊急入院や、専門外来での診断・治療が必要な患者様もいらっしゃいます。そのような時、福岡記念病院では速やかな外来受診や入院加療を実施していただき大変感謝しております。

今後も福岡記念病院と協力しながら地域医療に貢献して参りたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	○
○	○	/	○	○	/

※受付は診療終了30分前までとなっております。  
休診日：日曜日・祝日（水曜日・土曜日午後休診）



〒810-0044  
福岡市中央区六本松 4-2-2  
六本松 421  
クリニックゾーン 2F  
【TEL】092-717-6771  
【FAX】092-717-6788

## つかもと内科

[診療科] 内科／糖尿病内科／腎臓内科

つかもと まさとし  
院長 塚本 雅俊 先生



早良区飯倉の住宅街の中にある内科クリニックです。糖尿病が得意な腎臓内科医が、透析導入を防ぐために作ったクリニックで、腎臓病と糖尿病をメインに診療しています。糖尿病で腎臓も悪くなつた患者さんを悪化しないように治療し、残念ながら進行してしまった場合もトラブル無く透析に移行できるように適時に紹介などを行うという点が特徴です。

とは言え住宅街の内科クリニックですので虫垂炎や肺炎・心不全、帯状疱疹など様々な患者さんが受診されます。当院では対応困難な場合に福岡記念病院に快く受け入れしていただき大変感謝しております。また、腎臓病の患者さんを逆紹介していただくこともあります。さらに連携を深めたいと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。

月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	○
○	○	/	○	○	/

初診の方の受付は終了1時間前までとさせていただきます。  
休診日：日曜・祝日（水曜日・土曜日午後休診）



〒814-0161  
福岡市早良区飯倉  
3丁目31-14  
【TEL】092-832-5901  
【FAX】092-832-5902

